（大正八年三月七日第三種郵便物認可）　昭和十四年二月二十四日　磐城時報　（金曜日）　第七千四百三十四號　【一】

夕刊
磐城時報

廿三日發行

福島縣平市鷹匠町十四 編輯兼發行人 岡田弘成
福島縣平市鷹匠町十四 印刷人
福島縣平市鷹匠町十四 印刷所 磐城時報社
福島縣平市鷹匠町十四 發行所 磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）發日休刊

平市明年度の豫算
遂に四十四萬圓突破
増額不可避　苦心の青沼財政

平市明年度豫算編成は歳入と歳出のバランスが執れず、主腦部の査定に行き惱みを生じてゐたが　二十二日深更に至り青沼市長斷案を下し、漸やく成案を得たので直ちに數字の集計整理を進め、二十八日市會に豫算案の概要を内示、來月二日市會を召集、市長の豫算説明があつて議案熟考のため三日休會、四日本會議を開き青沼市長の施政方針に對する質問があつて豫算案を委員會に移し五、六兩日に亘つて審議、七日本會議を開いて議決することに成つた、豫算總額は四十四萬圓を突破、縣から前年度（十三年）當初豫算五分減を示達されながら反對に約五分の増額を見るに至つた

増額した原因は學級増加に依る教育費の約一万圓と物價騰貴の關係を考慮して市吏員俸給約一割増額等が主なるもので、新規事業としては殆んどする見るべきもの無く一般的な物價高に備へた自然膨脹である

歳入方面では戸數割平均額二十四圓七十九錢で縣内四郡市中最高位にあつて増徴の餘地無いため税額は前年同様増額せず、前年三萬一千圓交附された財政調整補給金約二萬圓と市有地鉄田遊廓賣拂代一萬八千余圓を再び計上、辛ふじて歳入と歳出のバランスを合せ、青沼財政苦心の跡歴然たるものがある

平市警防團編成協議
けふ議事堂で開催
二十八日の市會へ提案

平市では縣へ申請の關係上警防團の組織を急ぎ、今二十三日午後一時から市會議事堂に市主腦部、警察署主腦部、消防組正副組頭同部長、郷軍聯合分會長、防護團幹部及分團長、市聯合青年團長、等關係者を集め

名稱、區域、定員及編成、施設概要、給與等について具体的に協議を進め編成上の大綱を決定、二十八日の豫算市會へ提案議決した上平警察署を經由縣へ〝平警防團〟の設置を申請、許可を待つて正式に編成することになつたが、團長、副團長は本田署長の推薦に依つて知事これを任命、分團長以下は警察署長が任免權を有する譯である

團員の資格はその土地に住居し、素行の悪いもの、生活扶助を受ける者などは勿論のこと、年齢に於ても團長、副團長は滿二十五歳以上六十歳まで、分團長以不の幹部同五十五歳以下、團員は五十歳と制限されてゐるため、現消防組員中にも年齢の關係で勇退するものがある模様である

更に正副團長の資格は非常に喧ましく、左の條件を必要とされてゐるので、平市の團長は議論の余地無く郡山市同様現組頭關内正一氏の昇格が有力視されてゐる

正副團長の條件
一、防空水火消防其の他警防團の知識及經驗あるもの
二、統御の才幹あるもの
三、其の市町村に名望あるもの

舊正月の行事改善
長期建設下・鹿島の申合

鹿島村では長期建設に對應すべく舊正月の行事を改善することになり去る二十日小學校で部落有志會を開き左の事項を協議決定した

一、舊正月行事は七日までとし八日未明七五三飾りを撤去し午前五時サイレンを合圖に鳥小屋で淨拔すること
一、鳥小屋の行事は一部落一つとし融合和樂、眞に隣保共助の美風を開却せざる事
一、佛事は八日より執行さし支へなきこと

内郷村會

内郷村會は二十三日午前十時から開き十四年度豫算、警防團給與に關する件を附議

感心な細谷君

市内紺屋町細谷賢碧は昨年第一小學校在學中に金十圓を拾得平署に屆出たが滿一年經つても落主が現はれずこのほど同署からこの金を下げ渡されたので半額を市軍事後援會へ寄付した

研師行倒れ

二十二日午前十時ごろ平市鉄田町下川原、鈴木龜松氏軒下に變死体があり平署原田部長檢死の結果、岐阜縣群上郡北濃村長谷川眞六（四九）といふ研師で數日前から同町木賃宿三河屋に泊つてゐたもの

空腹と寒氣で凍死したものらしい、市役所で假埋葬に付した

四倉名物だるま市
戰捷祈願も併せて執行

四倉町本町北辰妙見尊の祭典は二十六日執行される

この祭りはダルマ市と稱し古くから地方に知られてゐるが今年は特に午前六時、午前十時の二回に亘り戰捷祈願、出征軍人武運長久の祈願護摩をたくので一層賑ひを豫想される

尚大漁を祝ふ漁夫連はこの朝午前二時を期して奇習ハダカ詣りを行ふことになつてゐる

磐女音樂會
二十五日午後一時

縣立磐城高女では二十五日午後一時から同校講堂で校内音樂會を開催する、出演生徒左の通り

△ピアノ聯彈3年田村康子、小島郁子、2年鈴木蘭子、千葉怜子、3年櫻庭美代、遠藤勝代、4年宮川芳子、白土貞子△ピアノ獨奏2年大和田キヨ子、4年關内義子、4年堀喜代子△獨唱1年増子操、2年梅森道子、3年鈴木あつみ、4年根本ツネ子△伴奏2年松崎幸子、4年青山佳子、3年中山和子、2年大嶺悦子、4年根本ツネ子△二重唱4年馬目喜久子、千葉とし△二部合唱、三部合唱、各學年全部

四倉署管内警防團打合
四倉署では二十三日午前十時から管内二町四ケ村の町村長ならびに消防組頭を招き警防團編成に關し指示注意を行つた

大野木炭品評會

大野村の木炭品評會は三月七日同村八茎事務所で開催

製綿組合總會

磐城製綿工業組合は二十五日市内田町酒喜屋で臨時總會を開く

電話事務員募集

平郵便局では左記要項により同局電話事務員見習を募集する

▲採用人員、二十四名▲資格高小卒業以上で滿十九歳未滿の女子、但し平市及びこれに準ずる地域居住者に限る▲應募方法、本人直筆の履歴書に在學成績證明書付で本局へ提出すること▲締切、二月末日限り▲試驗、三月上旬▲見習發成開始、四月及び九月の二回

天氣豫報

今晩は北西の風晴一時曇
明日は北東の風晴

印刷の御用は　電四〇九へ

この師この教へ子
平局給仕さんを巡る佳話

市内長橋町五〇、平郵便局給仕篠塚榮子さん（一七）はかよわい女の細腕で祖母しげさん（七五）を養つてゐる感心な少女だが、小學校時代の受持教師渡邊小學校訓導平田武氏が應召して第一線にあることをきゝ、薄給のうちから眞心こめた慰問袋を贈つたところ、榮子さん一家の實狀を知る平田訓導は禮狀に添へて金十圓を榮子さん宛送つて來た

榮子さんはこのうち半額の五圓を二十三日平市軍事後援會へ寄附して來たので草野兵事課長始め吏員一同感激してゐる

榮子さんは局でも非常に眞面目に働いてゐるので近く何とか適當な方面に拔擢したいと局側では優遇方法を講じてゐる

五妻スキー行
松野尾生

青木小屋（續き）

そこで僕等の現身は、今、純白のカンヴアスに魂を入れて居るのだが、一息入れて來し方を振り返つたそのとたんに、あゝこれはどうだ、白皚々の山波遥か彼方につきる處巍然と天を壓し地を踏んまへて、白銀の藏王連峯が聳え立つて居るではないか。

大藏王の峯々、熊野の斷崖も、不忘の絶壁も、十四、五里を離れてなほ歴々と指呼出來るではないか。去秋平山岳會同人と霧に雨に惱まされた思ひ出の地藏岳が、去る一月末にはガスに卷かれて惡戰苦闘した刈田の嶺が、今日は又心憎い迄に落ちつき拂つて居るではないか。此の大自然に對しては、何と我が畵く線畫巧術の貧弱なることか。

家形山へ

青木小舍から登りつめた右手、木立のなかに吾妻山莊が蕭洒な姿を見せる頃、家形山が、のしかゝる様に目の前に突立つ。家形小舍迄もう直ぐだ。急登行で腹が猛烈に空いて來た、切株に腰かけて握飯に喰ひつく。貞太郎君仙臺から持參のウキンナー・ソーセージで一寸都會の香にふれるアツ、見だ！十間程先のキラキラ光る斜面を大きな白い塊が跳んで行く。一跳び毎にバツパツと粉雪が美しく照り輝く。お伽の世界夢の國だ。

時々家形山頂の左肩に粉雪が舞ひ上る。山の向ふ遥く裏磐梯から大倉川溪谷の上を吹き上つて來る風の仕業でもあらうか。僕達の周圍にも時に小卷風が粉雪を運んで來る、手袋をつけないと手が凍りさうになつて來た。防風衣を着て食事を終る。

後に家形山を銀屏風のようにはり廻し、家形小舍は、深い針葉樹林にかこまれて建つて居る。五色を出てから丁度四時間だ。小舍の前から見た家形山の、左肩急斜面は全く物凄くも美しい。實際は急な所で三十五度か四十度だらうが、見た目には五、六十度だ

それがぐんと頭の上にそゝり立ち、先行者のシュプールが鮮かに、陽を受けてジグザグに刻み込まれてゐる。さうして時折銀粉のような雪煙りが舞ひ流れる。いくら拒んでも人を引き寄せずにはおかない、すばらしい魅力である。一つ二つ、豆粒のような人影が裏側から現れる、朝早く出かけた連中が頂に近い斜面を左裏側に卷き又表側に出て來たのだ

食料品と酒銘
清水屋商店
小名濱町・電話六番

一日一言

銃後の仁術に遺憾無きか

野澤武藏

本欄に於ても屢々注意を喚起したことであるが、近年醫師に對する患家からの非難が頗る多い、日本醫師會でも民衆の聲に動かされ、戰時体勢下の今日、銃後の醫術奉公が果して完全に行はれてゐるか？　全國四萬五千の醫師會員について實情を調査、誤れるはこれに訓戒を加へ是正することに成つた。

◇

〃醫は仁術〃の精神は昔も今も勿論變るところが無いと思ふ最高の學府を出てゐる現今の醫師に仁術の定義を說くことは甚しい侮辱を與へることで、その必要を認めないが、醫學が進歩すると同時に科學的な施設が伴ひ、醫院を開業するには相當の資本を投ぜねばならず、大病院の經營に至つては完全な事業であつて、漢方醫時代に比較すると雲泥の差があり、資本投下の点で〃仁術〃も物質的に成つたことはあらそはれない事實であらう、非難の聲を二、三擧げると

一、貧困者の家庭は努めて敬遠、鄭重に迎へても言を左右し、居留守を使ふものが多い

一、夜間の往診に至つては最も前述の事實を裏書きするに足り、電話をかけた場合先づ對手方（患家）の住所氏名病狀等を詳さに聽取し、奥の方へ伺ひを立て『只今往診に出て二時間位歸らない』と明らかな居留守を使い、或ひは『風邪で早く就寢しました』と逃げ、横着な醫師に至ると門戸を幾等叩いても女中でさへ起きて來ないものがある。

これでは如何に物質萬能時代でも、人の生命を預る醫師である以上倫理を沒却した行爲ではあるまいか？

◇

日本醫師會今回の〃銃後仁術調べ〃は完全に行はれるものでは無いが、一般醫師にして〃仁術〃の精神を忘れずに貧富の差別を排除して患家を見舞ふの親切さが希ましいものである。

新文具御案内
マルトモ書店入荷品
小學生用
ランドセル
皮製
ズック製
ファイバー製
新型各種
一七〇より
代用品も至極堅牢な品が御座います、どうぞ一應御目通しを願ます

アルバム
キャビネ
八切
六切
四切
ブック型
新鮮な生地
最新な型
豐富な種類
御卒業紀念に、その他の御贈答用に最近非常に多く用ゐらるゝ樣になりました。
格安品も澤山ございます、どうぞ御覽の程を。

洋酒と喫茶
婦人のサービス
氣分本位の店
タイラ・ボンヲ通り
グリル バッカス
電七三〇番

開業御挨拶
久しく休業致しましたが今回改築の上東京から次女かづ子を呼び舊正月二日（二月二十日）から從前通り開業致しましたから私同樣御引立をお願ひ申上げます。
平市田町
御料理 寶菜亭
阿部チエ
電話三三二番

鑄物の代用品生る
セメント製 マンホール 金貳圓ヨリ各種
同 風窓 網 金四十錢ヨリ各種
平市南町二〇
發賣元 野内商會
電話一一番
燒土管 在庫豐富

安田生命
日本共立火災
東京動産火災
保險
平代理店 井上貞治郎
平市五町目 電話六六番

十一屋食堂
平局前 電話三七三番
出前迅速
女店員・コック見習 至急入用

吸入用酸素 純99%
ハカリ モノサシ マス
体温器 寒暖計
寫眞機材料一式
秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
開内藥局
電話四〇番

スッポン酒 二圓
スッポン活血錠 三圓・五圓
縣下販賣店
平・五丁目 山野邊藥局

小兒科 内科
平市南町
志賀醫院
（入院ノ需ニ應ズ）
電話一六二番

タンス・鏡臺
御婚禮調度品を取揃へました
是非
和
和久井屋へ
御越下さい

内科 外科 一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町 【電話三五八番】

公債・債券 質物一般
三井質店
平市四丁目
電話六〇六番

産婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩俊雄
入院隨意 病室完備
平市新川町【電話一六四番】
木村病院

吉田眼科醫院
平市紺屋町【電話六八番】